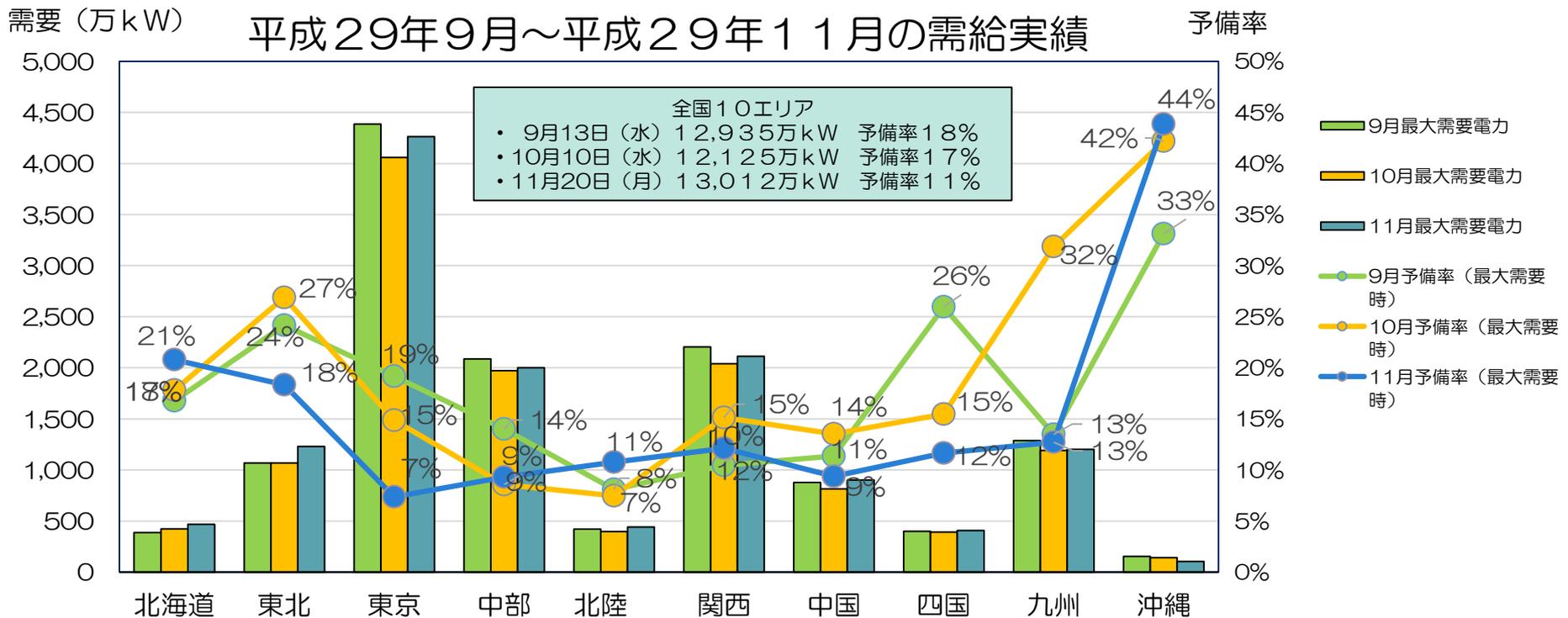


1. 理事会の活動 ①理事会の審議(主要審議事項)

- 第124回理事会 (平成29年9月6日)
 - ✓ 北海道本州間連系設備のマージンの変更について
- 第125回理事会 (平成29年9月13日)
 - ✓ 平成30年度向け調整力の公募にかかる必要量等について
- 第127回理事会 (平成29年9月27日)
 - ✓ クライアント証明書に関する変更覚書の締結について
- 第128回理事会 (平成29年10月4日)
 - ✓ セキュリティログ監視等業務委託に関する契約締結について
- 第129回理事会 (平成29年10月18日)
 - ✓ 電力需給検証結果の取りまとめについて
- 第130回理事会 (平成29年10月25日)
 - ✓ 広域機関主宰 電源接続案件募集プロセスの結果および公表について(鹿児島県入来エリア)
- 第131回理事会(平成29年11月1日)
 - ✓ 電気の質に関する報告書の取りまとめについて
 - ✓ 苦情及び相談対応に係る情報公表について
- 第133回理事会 (平成29年11月22日)
 - ✓ 平成29年度年次報告書の取りまとめについて
 - ✓ 需要想定的前提となる経済見通しの策定について
- 第134回理事会 (平成29年11月29日)
 - ✓ 間接オークション導入に伴う連系線利用計画(長期・年間計画)の取扱いについて

3. 全国及び供給区域ごとの需要に対する適正な供給力の確保状況の評価に関する事項



9月	7日	13日	13日	1日	13日	7日	7日	13日	6日	11日
	19時	15時	14時	15時	15時	12時	11時	15時	14時	14時
10月	23日	30日	12日	11日	11日	11日	10日	11日	10日	6日
	18時	18時	14時	15時						
11月	24日	20日	20日	20日	20日	20日	22日	22日	20日	8日
	17時	10時	18時	18時	17時	18時	11時	18時	19時	16時

※速報値であり、後日修正する場合があります。

- 東京エリア 11月20日は、今季一番の寒さによる需要増で予備率は7%となった。
- 全国および他の供給区域とも、需要に対する適正な供給力を確保できていた。

4. スイッチング支援システムの利用状況

(単位:千件)

エリア	スイッチング開始申請件数 (平成28年3月1日からの累計)							
	H28 3/31 まで	H28 6/30 まで	H28 9/30 まで	H28 12/31 まで	H29 3/31 まで	H29 6/30 まで	H29 9/30 まで	H29 11/30 まで
北海道電力	19.8	63.2	94.7	129.2	164.6	233.7	268.7	295.7
東北電力	7.6	32.4	57.0	84.7	121.8	155.1	194.3	219.8
東京電力PG	315.2	762.5	1,083.1	1,443.8	1,813.8	2,185.8	2,613.1	2,892.7
中部電力	20.1	83.7	146.3	202.8	295.1	361.2	438.7	550.1
北陸電力	1.1	3.1	6.0	12.3	20.6	25.7	31.1	34.6
関西電力	132.0	260.5	380.9	517.9	721.5	900.2	1,089.2	1,212.1
中国電力	0.4	3.2	7.7	16.6	40.3	59.4	79.1	96.3
四国電力	2.0	5.8	11.9	21.0	32.9	47.4	63.9	76.4
九州電力	13.1	50.0	96.7	146.2	217.3	284.0	345.2	393.0
沖縄電力	0	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
合計	511.3	1,264.4	1,884.3	2,574.5	3,427.9	4,252.6	5,123.4	5,770.8

251 千件/月 207 千件/月 230 千件/月 284 千件/月 275 千件/月 290 千件/月 324 千件/月

5. ①広域系統整備委員会

■ 検討事項

定款第4条第1項の規定に基づき広域系統整備委員会を設置し、以下の事項を検討する

- (1) 広域系統長期方針に係る検討
- (2) 広域系統整備計画に係る検討 など

■ 概要スケジュール

項目	平成29年度				平成30年度以降
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
委員会開催実績・予定	★ ★	★ ★	★ ★	★ ★	
広域系統長期方針	流通設備効率向上 潮流想定の合理化等に向けた取組の方向性検討		具体的な個別系統の評価等		想定潮流合理化等適用
			コネクト&マネージ※に関する課題・検討の方向性整理		具体的な課題対応等
	費用対便益評価	課題・方向性の整理		費用対便益 評価方法整理	
アクセス業務のあり方 (情報公開、検討スキームなど)	課題の整理		方向性の検討	詳細設計	
	中国九州間連系統 検討の方向性検討		コスト・効果確認	進め方の決定	
コスト等検証小委員会 (調達における基本的な考え方、東清水FC)	★ ★ 東京中部間調達の基本的な考え方の検証	★ ★ ★ 東清水FC発注方式の検証	★ ★ ★ 東北東京間調達の基本的な考え方の検証		

※コネクト&マネージ：運用面を工夫することでできるだけ多くの電源を接続させる仕組み（詳細は参考資料参照）

■ 委員会の議事

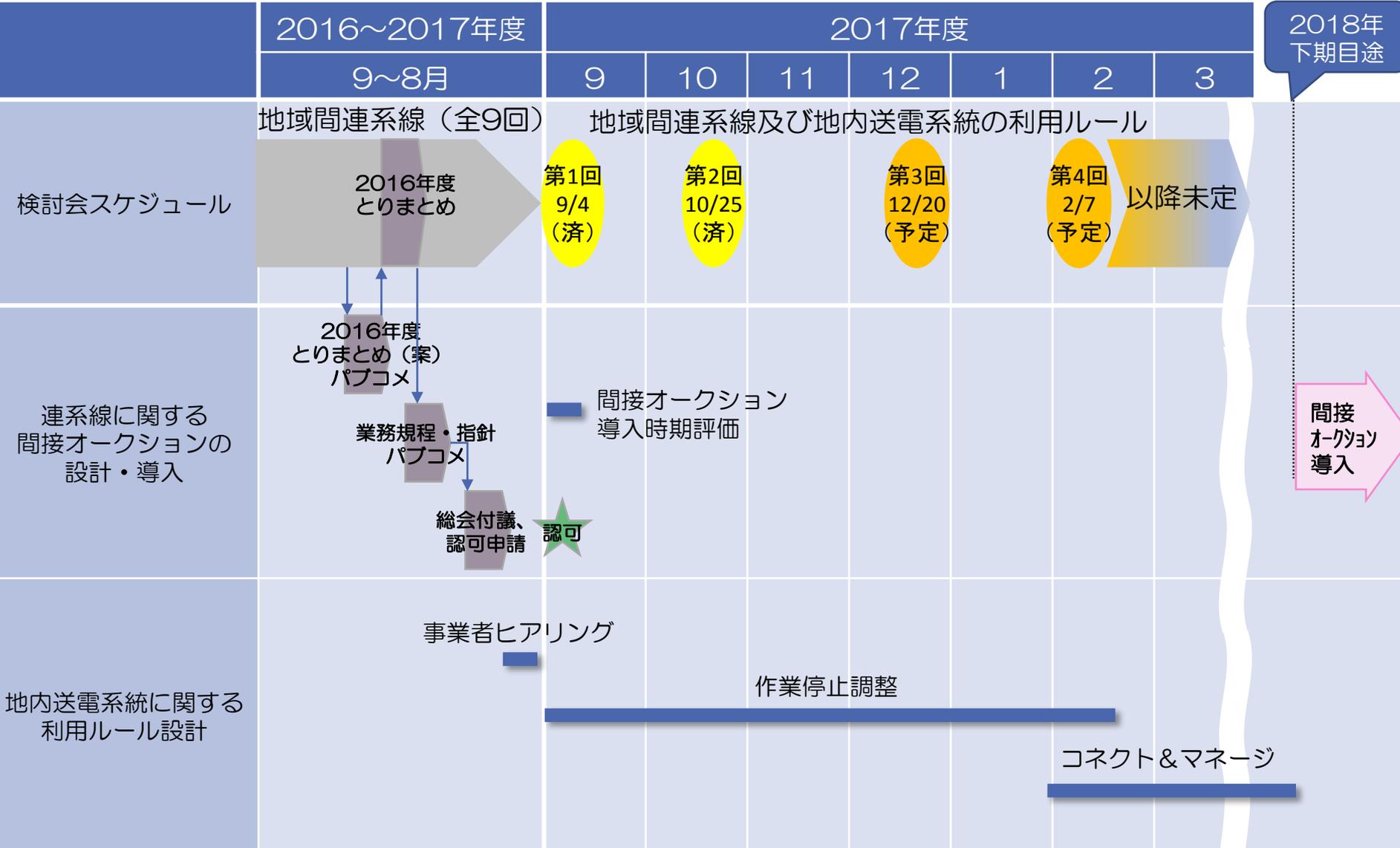
開催回	議事	備考
第26回 (H29.9.26)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（流通設備効率の向上 アクセス業務の在り方） ➢ 計画策定プロセス開始要件適否確認 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 流通設備効率の向上 想定潮流の合理化に向けた連系統潮流の評価の考え方、N-1電制適用に向けた課題整理 ➢ アクセス業務の在り方 事業者ニーズ調査の進め方
第27回 (H29.11.2)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広域系統長期方針（流通設備効率の向上 費用対便益評価） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 流通設備効率の向上 N-1電制の課題整理、ノンファーム型接続の前提条件と課題 ➢ 費用対便益評価 費用対便益評価の活用方法、便益項目の確認

取組	想定潮流の合理化	コネクト&マネージ	
		N - 1 電制 (N - 1 故障時瞬時電源制限)	アンファーム型接続 (平常時出力抑制条件付き) 電源接続
運用制約	原則、マネージなし	N - 1 故障 (電力設備の単一故障) 発生時に電源制限	平常時の運用容量超過で電源抑制
設備形成	<ul style="list-style-type: none"> ・接続前に空容量に基づき接続可否を検討 ・想定潮流が運用容量を超過で増強 		<ul style="list-style-type: none"> ・事前の空容量に係わらず、新規接続電源の出力抑制を前提に接続 ・主に費用対便益評価に基づき増強を判断
取組内容	想定潮流の合理化・精度向上 ・電源稼働の蓋然性評価 ・自然変動電源の出力評価	N - 1 故障発生時に、リレーシステムにて瞬時に電源制限を行うことで運用容量を拡大	系統制約時の出力抑制に合意した新規発電事業者は設備増強せずに接続
混雑発生	(平常時) なし	(平常時) なし	(平常時) あり
	(故障時) あり ⇒電源抑制※1で対応	(故障時) あり ⇒電源制限※2で対応	(故障時) あり

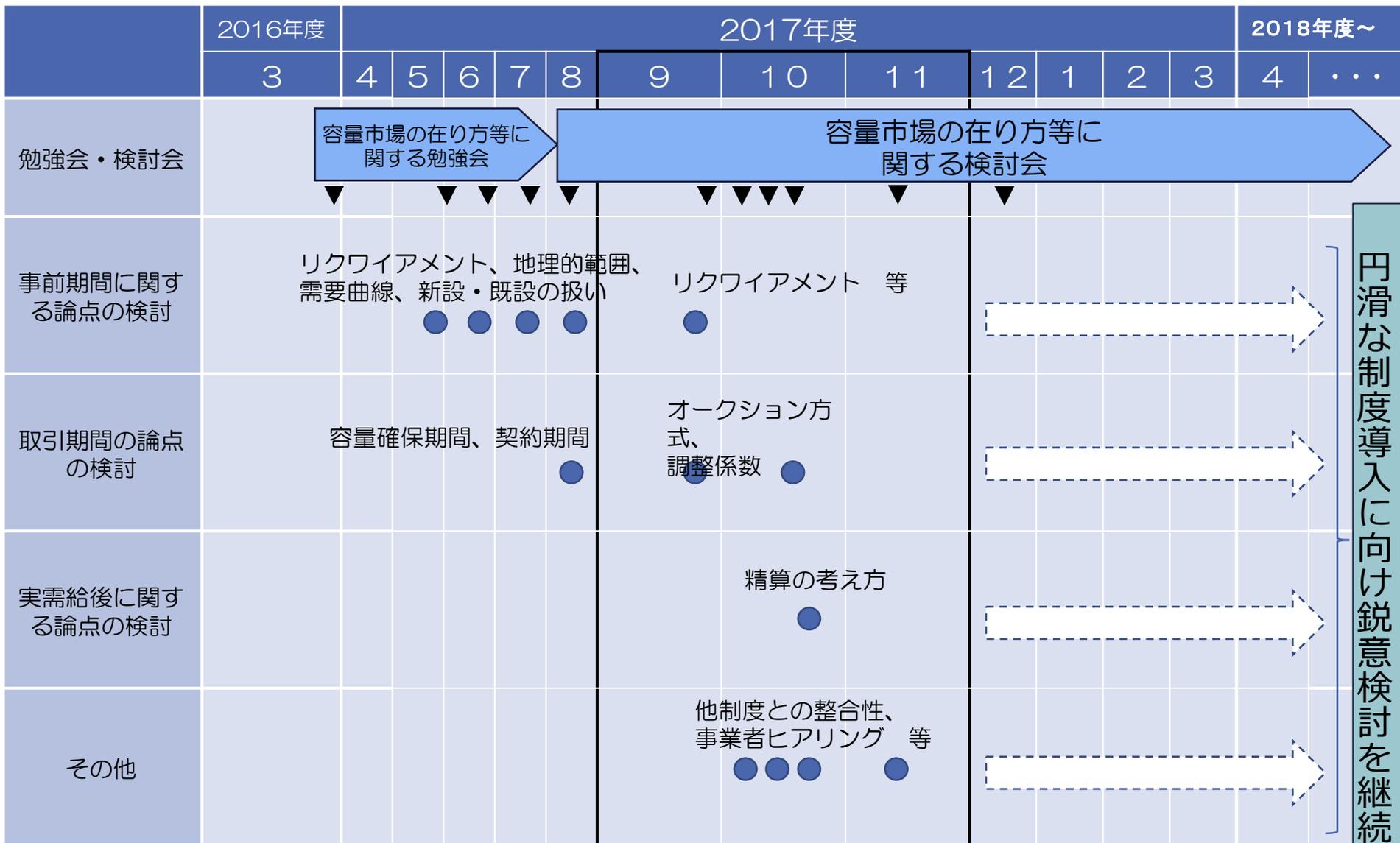
※1 給電指令による発電出力抑制

※2 リレーシステムによる瞬時の発電出力制限

5. ③地域間連系線及び地内送電系統の利用ルール等に関する検討会 6



5. ④容量市場の在り方等に関する検討会



円滑な制度導入に向け鋭意検討を継続

5. ⑤情報セキュリティに関する取組み

<計画と実績>

